

今後の障害保健福祉施策について
(改革のグランドデザイン案)

【参 考 資 料】

平成16年10月12日

厚生労働省障害保健福祉部

目次

今後の障害保健福祉施策の基本的視点

現行の制度的課題を解決する

(1)市町村を中心とするサービス提供体制の確立

- 障害保健福祉に係る市町村、都道府県、国の役割分担(案)……………6
- 障害保健福祉サービスの計画的な整備手法(案)……………7

(2)効果的・効率的なサービス利用の促進

- 障害者の相談支援体制……………8
- サービス利用決定手続き……………9
- 利用決定後のサービス利用の流れ……………10

(3)公平な費用負担と配分の確保

(利用者負担関係)

- 福祉サービスの応益的な負担の導入……………11
- 各制度の利用者負担の比較(在宅、入院外)……………12
- 入所施設の負担の見直し……………13
- 各制度の利用者負担の比較(入所、入院)……………14
- 本人負担と扶養義務者負担……………15
- 公費負担医療の仕組み……………16
- 障害に係る公費負担医療の仕組みと現状……………17
- 障害に係る公費負担医療の見直しの考え方……………18
- 各制度の利用者負担の比較(公費負担医療等)……………19

(国・都道府県の補助制度関係)

- 障害保健福祉サービスの負担構造……………20
- 一律支弁の国費の計算イメージ……………21
- 調整交付金による調整……………22
- 調整交付金の計算イメージ……………23

新たな障害保健福祉施策体系を構築する

(1)障害保健福祉サービス体系の再編

- 新しい給付等の体系(総合的な自立支援システム)……………25
- 施設体系・事業体系の見直し……………26
- 再編後の各事業の目的等……………27
- 就労移行支援事業のイメージ……………28
- 要支援障害者雇用事業のイメージ……………29
- 多機能型のイメージ……………30
- 障害者支援施設の報酬体系のイメージ……………31
- 障害者の居住支援サービスの見直し……………32
- 障害者の居住サポート体制の整備……………33
- 「補装具給付事業」と「日常生活用具給付事業」の見直し……………34
- 給付体系と事業体系の関係……………35

(2)ライフステージに応じたサービス提供

- 就労支援に係るサービスマネジメント体制……………36
- 極めて重度の障害者を包括的に支える仕組み……………37
- 児童施設体系・事業体系の見直し……………38

(3)良質な精神医療の効率的な提供

- 病床の機能分化のイメージ……………39
- 救急医療システムの考え方(案)……………40
- 実地指導に基づく改善計画の公表の仕組み……………41